

# 社会福祉法人 大竹福社会立 那覇市認定こども園 曙こども

## 第三者評価結果報告書

### 【 開園3年目 初受審 】

#### ① 曙こども園の情報

名称： 曙こども園	種別： 那覇市公私連携認定こども園		
代表者氏名： 末吉 八千代 園長 高江洲 成 副園長	定員（利用人数）： 65 （ 60 ） 人		
所在地： 那覇市曙2丁目18番2号			
TEL (098) 860-2727	ホ ム ペ ー ジ : <a href="http://ootake-fukushikai.jp/ootake-h/akebonokodomoen/">http://ootake-fukushikai.jp/ootake-h/akebonokodomoen/</a>		
【認定こども園の概要】			
開園年月日： 2017年（平成29年）4月1日			
経営法人・設置主体（法人名）： 社会福祉法人 大竹福社会			
職員数	常勤職員： 10名	非常勤職員： 2名	
職 員	園長 1名	主幹保育教諭 1名	
	副園長 1名	保育教諭 7名	
	事務員 1名	用務員 1名	
設備等の概要	園舎 451㎡ R造2F（学校敷地内） 幼児教育・保育室（4～5歳児 各56㎡×3室）・遊戯室 120㎡・職員室 職員更衣室、 屋外遊戯場（園庭）		
建築年月（築年数）	1990年（平成2年2月） 【 築29年 】		
移管前（2016年4/1） 児童人数	43人（2クラス 5歳児 43人）		
現在（2019年4/1） の児童人数	60人（3クラス うち5歳児 2クラス 4歳児 1クラス）		

#### ご利用状況

1号	5歳	4歳	計
定員	15人		15人
利用人数	6人	5人	11人

2号	5歳	4歳	計
定員	50人		50人
利用人数	32人	17人	49人

## ② 評価を実施した第三者評価機関名

名 称	(株) 第三者評価 <a href="http://daisansha.lolipop.jp/kindergarten.html">http://daisansha.lolipop.jp/kindergarten.html</a>
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
訪問調査日	訪問調査日 2019年10月25日(金)
評価調査者 2名	リーダー I・II・III章担当 吉山 浩 (兵庫県・大阪府・全社協研修受講) IV章担当 江木 朋子 (兵庫県・大阪府研修受講)
保護者アンケート実施	2019年7月 回収率 100% (回収 55 / 配付 55)
評価結果確定日	2019年11月7日(木)

# 本園の教育・保育目標



～遊びを通して 仲間と共にたくましく育ち合う 心豊かな子の育成～



- ・基本的な生活習慣や態度を身につける子
- ・自ら進んで遊びに参加できる子
- ・元気にあいさつができる子



- ・友だちと協力して遊べる子
- ・決まりを守る子
- ・思いやりと感謝の心を持つ子
- ・動植物をいたわる子



- ・人の話をしっかり聞く子
- ・良いこと悪いことがわかる子
- ・考え、工夫して遊べる子
- ・最後までがんばる子

《一人ひとりの子どもを大切にする教育・保育を行っています》



遊びのなかに学びがいっぱい

～幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の具体的な姿～

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関り
- 思考力の芽生え
- 自然との関り・生命尊重
- 数量・図形文字等への関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

様々な体験を通して、小学校以降の生活や学習の基盤を育成します

#### ④ 曙こども園の特色ある幼児教育・保育活動

1	<p><b>【 主体的にあそび、友だちとの繋がりが深まる環境づくり 】</b></p> <p>日々の保育の中で、子ども達の興味関心を捉え、発達過程や季節に応じた遊びを用意することで、子ども達が主体的に遊びに親しめるようにしています。その中で、友だち同士で疑問に思ったことを探求したり、思いや考えを出し合っ、試したり工夫したりしながら、遊びを深め、発展させていくことの楽しさを味わうことができるような環境づくりをしています。又、友だちの名前はさん付けで呼び合い、相手を思いやり、子ども同士の心の繋がりのある温かい集団が育つよう援助しています。</p>
2	<p><b>【 自然や生き物と関わる 】</b></p> <p>一年を通して、菜園活動や四季折々の植物を育て、花と緑に囲まれた園づくりを目指しています。小動物（ハムスター・カメ・グッピー・金魚）の世話をすることで命の大切さや思いやりを育み、収穫した食物はクッキングをして食することで食物を大切に作る心や感謝の心が育ちます。また、自然観察の中で、ザリガニの脱皮やオオゴマダラの羽化を体験し、生命の美しさや不思議さに目を輝かせ、感動を覚える直接体験を大切にします。</p>
3	<p><b>【 小学校との連携 】</b></p> <p>小学校が隣接している為、日常的に小学校職員と情報交換や互いに授業参観や保育参観を行うことができます。また、行事や施設利用（運動会、図書館利用、プール授業、体育館利用）を通し、小学生との交流が持てるようにしています。年長児は、1年生や5年生と関わる行事もあり、就学への期待が高まる機会となっています。アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムを小学校の先生方と一緒に作成し、小学校就学の際、学びや育ちの繋がりが途切れないようにしています。</p>
4	<p><b>【 地域とのかかわり 】</b></p> <p>当園の特色ある教育・保育の1つに、地域との繋がりの深さがあります。民生・児童委員、曙まちづくり協議会、願寿会、曙地区絵本読み聞かせボランティアの方など、多くの地域の方がこども達を見守ってくださっています。園行事（交通安全指導、こ小合同避難訓練、平和集会、お招き会、ムービー作り等）には来園して頂き、子ども達と触れ合える機会となっています。近隣公園で移動パーラー公民館が開かれており、絵本の読み聞かせやハロウィーンパーティーのイベント、公園清掃に参加できるようになっています。</p>
5	<p><b>【 リトミック指導 】</b></p> <p>「見る・聞く・歌う・反応する・表現する 音楽を楽しむ心を育てる」  「楽しい・出来る！」を感じるにより、自信につながり興味集中力を養う」を目標に、毎週、水曜日に外部講師を招き、授業を行っています。  歌に合わせて音を鳴らしたり、身体を動かしたりする中で、友だちと一緒にイメージを広げたり、共有したりしながら自分なりの表現を楽しむことができる時間となっています。  1年の集大成行事「生活発表会」では、様々な楽器を使って合奏や沖縄方言のわらべうたを披露し、達成感や表現する楽しさが感じられるようにしています。</p>

## ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年6月20日（契約日）～ 令和元年11月7日（評価結果確定日）
受審回数	初 受 審

## ⑥ 総 評

### ◇ 特に評価の高い点

- (1) 園の教育・保育理念、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に則って作成された「全体的な計画」は、子ども一人ひとりの人権と自主性を尊重し健やかに育む教育・保育を、具体的に実践するために、様々な領域にわたりきめ細かく作成されています。職員は、教育・保育内容の充実を目指して研修・研鑽を重ね、一丸となって取り組んでいます。
- (2) 小学校と隣接していることを有効に活用して、緊密な連携体制が構築されています。職員間のみならず、幼児と児童の交流や保護者参加の取組も充実しており、就学に向けて段差を滑らかにするアプローチカリキュラムが丁寧に作成され、有効に活用されていました。また地域との関りを深める取組も充実しており、地域活性化に貢献していました。
- (3) 当園の目指す子ども像、「明るく元気な子」「心豊かな子」「考える子」が育まれることを願って、主体的に遊びこめる環境づくり、友だちとのつながりが深まる集団作りを目指し、環境の充実に取り組んでいました。人的環境である保育教諭は、一人ひとりの子どもの尊厳と最善の利益を守り、健やかに育む信念と責任感に基づき、教育保育を展開していくことを目指していました。
- (4) 『那覇市子ども子育て支援事業計画』に沿う待機児童0（ゼロ）に向け、移管後 4歳児クラスを新設し、約50%増の園児受け入れを行い、4、5歳児の35人学級から30人学級への変更によるきめ細かな幼児教育・保育の実現、早朝受入、土曜保育、4月1日受入実施（春季休業期間中の保育）、地域の子育て家庭に対する支援、給食の提供等を実施され、保護者満足度を高く上昇させています。
- (5) 2019年7月実施の保護者アンケートで、55世帯に配布（全園児60人）、全て回収（100%）、5点満点による満足度調査で園平均 4.7 と極めて高い満足度となり、要望に対しても速やかに改善を実施しています。

### ▼ 改善を求められる点 （ b 評価となった 1項目 ）

評価基準 II-3-(1)-② 外部監査が行われていませんでした。

★ 同法人は、収益 20 億円を超える法人又は負債 40 億円を超える法人ではありません。

備考) 外部監査について 会計監査人の設置義務法人の範囲について

( 厚生労働省 平成 28 年 10 月 21 日付け

第 5 回社会福祉法人の財務規律の向上に係る検討会の資料より抜粋 )

- ・ 平成 29 年度、平成 30 年度は、収益 30 億円を超える法人又は負債 60 億円を超える法人
- ・ 令和元年度、令和 2 年度は、収益 20 億円を超える法人又は負債 40 億円を超える法人
- ・ 令和 3 年度以降は、収益 10 億円を超える法人又は負債 20 億円を超える法人

と段階的に対象範囲を拡大。

#### △ 推奨事項 1 件

- ① 定期的に給食の委託先OD社へ訪問しての衛生管理状況の点検や「調理従事者の日々の衛生管理点検表」の確認も行う事を契約書に盛り込むよう、給食会議で話し合う事も検討されては如何でしょうか。

#### ⑦ 第三者評価結果に対する 曙こども園のコメント

今回、第三者評価を受審するにあたり、何から手を付けていけば良いのが悩みましたが、全職員で協力して受審することができ、安堵しております。同時に、自己評価表を一つひとつ確認していくことで、同じ目標に向かって全職員が教育保育を振り返り、見直す良い機会となりました。さらに、職員で研修等を重ね資質向上に努めていきたいと思っております。

保護者アンケートは全世帯に協力して頂き100パーセントの回収率を達成することができ、結果も大変好意的で素直にうれしく思いました。これからも、保護者の声に耳を傾け、全職員で一人ひとりの子どもの尊厳と最善の利益のために、教育保育を目指していきたいと思っております。

これまで取り組んできた教育保育に良い評価を頂き、職員の励みになりました。改善点につきましては、全職員とともに早速取り組んでいきたいと思っております。

ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。ありがとうございました。

## 評価細目の第三者評価結果

各項目右端の評価結果欄 a、b、c のレベル（到達度）について

- a 全ての項目を満たす 目標となる高いレベル
- b 1つ以上の項目を満たす 標準的レベル
- c いずれの項目も満たさない 改善が必要なレベル

### 評価対象 I 基本方針と組織

I-1 教育・保育方針・目標		第三者評価結果
I-1-(1) 教育・保育方針・目標が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 教育・保育方針・目標が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>教育・保育方針・目標は、「入園のしおり」・「園だより」・ホームページ等に掲載し周知しています。保育教諭には、行動規範となるよう、「教育・保育の指導案」に反映させ周知しています。保護者には、園長から入園説明会、懇談会で、丁寧に説明しています。また、玄関にも掲示しています。</p> <p>訪問調査10/25の際に、保育教諭の脳裏に方針・目標が刻み込まれているか筆記テストを行い、確認しました。</p>		

### アウトカム（outcome）評価 < 園の取組み結果・方法に対する評価 >

- I-1-(1)-①
- ⑤ 教育・保育方針や目標が保護者等への周知が図られている。
  - ⑥ 教育・保育方針や目標の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。

2019年7月実施 保護者アンケート結果より（総数 55 世帯） **回収率 55/55 = 100 %**

設問1 曙こども園の 理念・方針をご存じですか？

回答 ⑤よく知っている 2 (3.6%)    ④まあ知っている 37 (67.3%)    ③どちらともいえない 10 (18.2%)  
 ②あまり知らない 3 (5.5%)    ①まったく知らない 2 (3.6%)    ①未記入 1 (1.8%)

年齢	クラス	⑤	④	③	②	①	①	計
4歳	にじ組	0	8	6	2	2	0	18
5歳	そら組	1	14	2	1	0	1	19
	ほし組	1	15	2	0	0	0	18
合計		2	37	10	3	2	1	55

⑤よく知っている 2 (3.6%) + ④まあ知っている 37 (67.3%) = **合わせて 39 (70.9%)**

**\* ある程度周知は出来ているも、もう少し保護者の認識度を上げたい。**

②あまり知らない 3 (5.5%) ①まったく知らない 2 (3.6%) を改善したい

AA 想定する周知状況になっているか？

BB どの程度の周知状況が目標なのか？

毎年、『理念』や『方針』の保護者への周知状況を保護者アンケート等で確認し、取り組み方法の妥当性を確認すると共に、⑤よく知っている + ④まあ知っている で合わせて 何%程度を目標値とするのか園内で議論され、数値による目標管理も合わせてご検討下さい。【 数値目標があると知恵が深まります 】

I-2 経営状況の把握		第三者評価結果												
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。														
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c												
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c												
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>『第2次那覇市教育振興基本計画（平成28年3月）』、『那覇市子ども・子育て支援事業計画（平成27年～31年）』、『那覇市立幼稚園の今後のあり方について（平成27年7月）』を参考にし、理事会（年3～5回）、監事監査（年1回）那覇市認定こども園園長会（月1回）にて、市の福祉計画や、校区の未就園児童情報や見学者、一時預かり人数や利用者の声からニーズ等を把握しています。</p> <p>&lt; 待機児童人数の多い上位10 地方自治体 &gt; 2019年4月1日現在 内閣府資料より</p> <table border="0"> <tr> <td>1 東京都 世田谷区 470人</td> <td>2 兵庫県 明石市 412人</td> <td>3 埼玉県 さいたま市 393人</td> </tr> <tr> <td>4 岡山県 岡山市 353人</td> <td>5 兵庫県 西宮市 253人</td> <td>⑥ 沖縄県 那覇市 250人</td> </tr> <tr> <td>7 兵庫県 神戸市 217人</td> <td>8 鹿児島県 鹿児島市 209人</td> <td>9 沖縄県 南風原町 208人</td> </tr> <tr> <td>10 沖縄県 沖縄市 198人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			1 東京都 世田谷区 470人	2 兵庫県 明石市 412人	3 埼玉県 さいたま市 393人	4 岡山県 岡山市 353人	5 兵庫県 西宮市 253人	⑥ 沖縄県 那覇市 250人	7 兵庫県 神戸市 217人	8 鹿児島県 鹿児島市 209人	9 沖縄県 南風原町 208人	10 沖縄県 沖縄市 198人		
1 東京都 世田谷区 470人	2 兵庫県 明石市 412人	3 埼玉県 さいたま市 393人												
4 岡山県 岡山市 353人	5 兵庫県 西宮市 253人	⑥ 沖縄県 那覇市 250人												
7 兵庫県 神戸市 217人	8 鹿児島県 鹿児島市 209人	9 沖縄県 南風原町 208人												
10 沖縄県 沖縄市 198人														

I-3 事業計画の策定		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、教諭が理解している。	Ⓐ・b・c
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「中長期5カ年計画（2017～2021年度）」を策定し、職員会議等で教諭に周知しています。法人の園長会・幹部会議にて内容を吟味し、期毎の進捗状況を追うことで、PDCAのCチェック機能を働かせています。進捗状況は、「事業報告書」に記載し、その振り返りを基に「次年度の事業計画」を策定しています。園長は、「中長期5カ年計画（2017～2021年度）」や「年度事業計画」の要旨を、「園案内」に記載し、保護者説明会、懇談会等で説明しています。</p>		



【 中長期5カ年計画（2017～2021年度）の主な内容 】

- 2017年度 実施済 . . . 移行にかかる備品設置（看板・掲示板・外灯・給水栓増設等）、副主幹2名体制、遊びの環境の見直し、リトミックの導入（外部講師）、手話に親しむ、運動用具（マット、跳び箱）購入、監視カメラ・AED設置、園庭の土の整備等
- 2018年度 実施済 . . . 園児用シャワースペース設置（4歳児室）、副園長体制、砂場セット購入、防災カーテン購入、非常用救急セット購入、地域こども食堂への協力等
- 2019年度 実施 . . . 屋上人工芝設置、トイレのドア取り換え、絵本・大型ブロック購入、大型固定遊具設置、5歳児トイレ改装、こ小合同通学路点検、散歩安全マニュアル作成  
地域の祭り・行事への参加、第三者評価受審（第1回目）、大型プール購入（屋上）
- 2020年度実施予定 . . . クーラー設置（1階・ホール）、英語指導の取組み、小動物飼育小屋設置、近隣公園の清掃、園車購入等
- 2021年度実施予定 . . . 第三者評価受審（第2回目）、保育教諭雇用、うちなーぐちの取組み等

I-4 教育・保育の質の向上への組織的・計画的な取組		第三者評価結果
I-4-(1) 教育・保育の質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 教育・保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c

<コメント>

幼児教育・保育の質の向上に向けた取組として、組織的・計画的な毎年の園の運営管理に関する自己評価の実施、及び 自己評価結果の園内での閲覧が可能な体制としています。今年令和元年度（3年目）は、評価基準に基づく第三者評価の実施 及び その結果のHPによる公開を予定。また、令和3年度（5年目）には、市との協定に基づき、2度目の評価基準に基づく第三者評価の実施 及び その結果の公開を予定しています。

改善面でも、保護者アンケート時の声から、各保育教諭の氏名と写真を事務所入り口に掲示する等、知恵を結集して、様々な創意工夫が進展していました。

2019年度 改善計画書の主な内容（副主幹保育教諭を中心に作成）

(1) 園庭では、

- ①植物や花であったかい雰囲気へ  
コスモス、さやいんげん、とまと、パプリカ等を植え暖かい和やかな雰囲気にする
- ②小動物の飼育  
かめ・グッピー・金魚・ハムスターなど小動物と触れ合える環境を作る
- ③チャレンジカード活用の充実  
縄跳び・フープ・竹馬・鉄棒など、安全にチャレンジカードに取り組める環境を整備する

(2) 教育保育では、

- ④自己評価の見直し  
従来の自己評価の見直しをして、園の改善、教育・保育の改善に向け全職員で主体的に取り組む
- ⑤「全体的な計画」の見直し  
「全体的な計画」の、遊びの環境が重視されるこども園の教育・保育活動の中に、子どもが、主体的・対話的・深い学び（アクティブ・ラーニング）ができるように見直しを行う
- ⑥ヒヤリハットの見直し  
これまでの様式の項目を見直し、第三者が見ても解りやすい様に変えた 等々

評価対象 II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 教育・保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 園長の役割と責任を「職務・業務分担表」に記載し、職員会議等で、教諭に説明し、理解を促しています。また、保護者に対しては、入園説明会や懇談会等で説明しています。</p> <p>(2) 園長は、法令が改定された時は外部の研修に参加したり、法人内の園長会や那覇市認定こども園園長会でも法令を学んでいます。また、「遵守すべき法令一覧表」を作成し、法令と教育・保育の関係について、職員会議や基本理念研修で保育教諭に伝えています。</p> <p>(3) 訪問調査10/25の際に、保育教諭の脳裏に関係法令が刻み込まれているか筆記テストを行い、確認しました。</p> <p>保育教諭が回答した関係法令の一部抜粋：</p> <p>①子ども・子育て支援法 ②認定こども園法 ③学校教育法 ④児童福祉法 ⑤社会福祉法          ⑥個人情報保護法 ⑦労働安全衛生法 ⑧消防法 ⑨児童虐待の防止等に関する法律          ⑩食品衛生法</p> <p>(4) 園長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために、運営状況を確認しながら、職員数、労働時間、人件費の比率を勘案しながら分析しています。子どもの人数やスキルに合わせて人員配置を行っています。また、法人内に「運営・事務管理会」・「管理職会」等の組織があり、経営改善や業務の実効性を高めている。</p>		

II-2 人材の確保・育成		第三者評価結果
II-2-(1) 人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	Ⓐ・b・c
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	Ⓐ・b・c
II-2-(2) 教諭の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 教諭の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	Ⓐ・b・c
II-2-(3) 教諭の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 教諭一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
18	II-2-(3)-② 教諭の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	Ⓐ・b・c
19	II-2-(3)-③ 教諭一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
II-2-(4) 実習生等の教育・保育に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の教育・保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 「教育・保育計画」に、「目指す保育教諭像等」を明示し、運営会議で必要な人材や人員体制に関する基本的な</p>		

考え方を確認し、育成に関しては「キャリアパス」に記載しています。

- (2) 人事評価基準を、『就業規則』、「職員自己評価」に定め、教諭全員に周知し、人事考課制度で、年に1回職務に関する成果や貢献度を評価しています。内閣府の経営実態調査、園長会・合同説明会資料等で他施設の情報等も参考に、比較・検討し、処遇水準の妥当性を確認しています。
- (3) 園長が、職員の就業状況や意向を確認し、「働きやすい職場」を目指す責任を認識しています。法人に育児・介護休業や短時間労働のシステムがあり、園内でも時間外労働の削減に取り組んでいます。
- (4) 教諭一人ひとりの育成に向けた取組は、「年間研修計画」を作成し、個々の職員が必要としている研修を受講したり、学ぶ機会を作っています。
- (5) 実習生等への指導・育成の体制は、『実習生受け入れ規定』(2018.5.20)に沿って、積極的な取組みを行っています。事前に学校側の担当教諭との打ち合わせを行い、実習生とは事前オリエンテーションを行って、養成校や実習生等の意見・感想を取り入れながら「実習プログラム」を作成しています。

【 直近3カ年 実習生受け入れ実績 】

2019年度 3人、 2018年度 6人、 2017年度 市との協定により受け入れなし

II-3 運営の透明性の確保		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c

<コメント>

- (1) 運営の透明性を確保するための情報公開は、園ホームページ、園のしおり、園だよりで行っています。苦情解決の現状報告についても、毎月、ホームページにて個人情報に関するものや申込者が拒否した場合を除き、公表し改善に務められています。

【 園のHP、WAMNET 社会福祉法人の財務省表等、電子開示システムによる情報公開の状況 】

2019年10月25日現在 (社会福祉法改正に基づく)

- ① 貸借対照表、② 収支計算書、③ 現況報告書、④ 役員区分ごとの報酬総額、⑤ 定款
- ⑥ 役員報酬総額 等が公開されている事を確認しました。

WAMNET 社会福祉法人の財務省表等、電子開示システム

<http://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB0200000E00.do>

- (2) 事務・経理・取引に関することは理事長が行い、ルール化されています。年間を通して、税理士事務所の助言を受けています。また、年1回の法人内部監査、年2回の監事監査も受けています。  
ただ、外部監査に関しては、実施されていませんでした。

備考) 外部監査について 会計監査人の設置義務法人の範囲について  
( 厚生労働省 平成28年10月21日付け  
第5回社会福祉法人の財務規律の向上に係る検討会の資料より抜粋 )

- ・ 平成 29 年度、平成 30 年度は、収益 30 億円を超える法人又は負債 60 億円を超える法人
- ・ **令和元年度、令和 2 年度は、収益 20 億円を超える法人又は負債 40 億円を超える法人**
- ・ 令和 3 年度以降は、収益 10 億円を超える法人又は負債 20 億円を超える法人  
と段階的に対象範囲を拡大。

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子ども・保護者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	㊤・b・c
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	㊤・b・c
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① こども園として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 玄関に掲示場所を設け、社会資源や地域の情報を掲示しています。またチラシを保護者が自由に取れるところに置いています。地域の他の保育園との交流会には積極的に参加できるよう、職員の支援体制を整えている。</p> <p>(2) 『ボランティア受け入れマニュアル』(2018.5.20)に沿って、小学校・中学校の職場体験を受け入れています。</p> <p>【 直近2カ年 ボランティア受け入れ実績 】 2019年度 6人、 2018年度 6人</p> <p>(3) こども園は、地域の子育て家庭に対する支援を行う施設と認識しており、月曜日から金曜日まで園庭開放を行い、地域の親子の方が気軽にこども園に来てもらえる取り組みを行っています。 また、地域の民生児童委員や近隣のお年寄りとの交流会を行ったり、地域こども食堂への協力等も実施しています。</p>		

評価対象 Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
26	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した教育・保育について共通理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
27	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した教育・保育が行われている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
28	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して園選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
29	Ⅲ-1-(2)-② 教育・保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
30	Ⅲ-1-(2)-③ 園等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子どもを尊重した教育・保育の実施は、法人基本理念や保育理念に記載しており、『教育・保育マニュアル』でも具体的な援助方法を記載し、職員に周知徹底されています。</p> <p>(2) 『プライバシー保護（羞恥心に配慮）規定』、『虐待防止マニュアル』があり、日々のミーティングや職員会議等で、子どもの権利擁護に配慮した教育・保育を指導しています</p> <p>(3) ホームページに最新情報を掲載したり、「入園のしおり」やパンフレットを作成し、新聞の折込チラシを近隣住民へ配布したり、入園児面接の前に校区内外の世帯へ園児募集パンフレットを配布したりしています。また、ホームページや近隣の商店等への広告掲示をする等、情報発信の方法を変えながら園の認知度を上げようとしています。</p>		

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス （利用者満足）		第三者評価結果
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
31	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
32	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
33	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	Ⓐ・b・c
34	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) クラス懇談会、親子レク、親子ソーメン流し、親子試食会、個人面談等を実施し、子どもや保護者の意向を把握しようと努めています。</p> <p>(2) 苦情解決の仕組みは、主幹・副主幹保育教諭が苦情の受付を行い、園長が責任者です。第三者委員は、2名任命し、連絡先の電話番号も記載し、掲示されています。</p> <p>(3) 今回、2019年7月に実施した50項目に及ぶ保護者アンケート結果は、100%の回収率（55件回収/55件配付）で、その内容は、極めて高い保護者満足度となっていました。前年実施の保護者アンケートの回収率は、約68%でしたが、その際の経験を活かして、創意工夫を行い、大幅な回収率のアップとなっていました。</p>		

年齢	クラス	回収	配付	回収率 (%)	満足度 (5点満点)
4歳	にじ組	18	18	100	4.7
5歳	そら組	19	19	100	4.8
5歳	ほし組	18	18	100	4.8
園平均		55	55	100	平均 4.7

☆☆☆ 保護者が感じている “ 曙こども園 ” の魅力の一部抜粋 ☆☆☆

- ① 体を動かして良く遊んでいる。
- ② 小学校との連携（避難訓練や、読み聞かせ、運動等）
- ③ 子供達が植物や生き物に関心をもてるように工夫している。
- ④ 子供の目線になって、話している。
- ⑤ クラスに関係なく先生たちが児童の名前など知っているので心強いです。

★ 要望も若干頂いており、園で精査を行い、速やかに順次改善活動も始まりました。

例) 保育教諭の氏名・顔写真の事務室前のガラス窓への掲示  
 期毎に絵本を変える  
 コーナー保育の充実 等

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス ( 安心・安全 )		第三者評価結果
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
35	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㊤・b・c
<コメント>  (1) リスクの種類別（感染症、怪我や事故、衛生、自然災害、不審者対応等）に責任・役割を明確にした管理体制があり、園長を責任者とし、職員会議で話し合いを行って、リスクの低減化を図っています。  (2) 『安全マニュアル』、「安全点検チェックリスト」に沿って点検を行ったり、「ヒヤリハットマップ図」を作成し、注意喚起を促しています。		
36	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㊤・b・c
<コメント>  『保育所における感染症対策ガイドライン』（厚生労働省 2018年版）に沿って対応し、流行している感染症を掲示板で保護者にお知らせしたり、安全管理担当者を中心に職員会議で予防について話し合いを行っています。子ども達には、うがい、手洗い、咳エチケットを自ら意識的に行えるように指導し、予防しています。		
37	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㊤・b・c
<コメント>  建物は、平成2年2月建築のRC造（鉄筋コンクリート構造）2F建てで、「S56年6月」以降の設計の為、震度5強程度の地震には、耐震強度があると思われます。 那覇市の「津波災害警戒区域避難マップ」を確認し、基準水位2.0～3.0mを把握、地震による津波や気候変動の影響で年々、大型化する台風・大雨による浸水被害を警戒し、隣接する小学校や自治会・民生		

児童委員等と合同避難訓練を実施しています。

Ⅲ-2 教育・保育の質の確保		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する教育・保育の標準的な実施方法が確立している。		
38	Ⅲ-2-(1)-① 教育・保育について標準的な実施方法が文書化され教育・保育が提供されている。	Ⓐ・b・c
39	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより指導計画が策定されている。		
40	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c
41	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
Ⅲ-2-(3) 教育・保育実施の記録が適切に行われている。		
42	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する教育・保育の実施状況の記録が適切に行われ、教諭間で共有化されている。	Ⓐ・b・c
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子どもの人権尊重、プライバシー保護の姿勢を基盤として、保育教諭の基本的な保育姿勢、送迎時の子ども・保護者対応、食事、遊び、保護者・地域との連携等の標準的な実施方法が、『マニュアル』として作成されました。また、基本的な生活習慣指導、食育、様々な遊びを具体的に展開していくための年間計画等がきめ細かく作成され、実践に繋げていました。これらの業務が標準的に実施されていることを、園長、主幹・副主幹保育教諭が確認する仕組みがありました。</p> <p>(2) 各クラス担任が「指導計画」を作成し、主幹・副主幹保育教諭や園長が確認、評価、指導を行っています。食育、アレルギー、食事関係は、委託先の給食業者の栄養士と月に1度の給食会議で話し合いを持ち、全職員に周知して教育・保育に反映しています。 支援を必要とする子どもについては、「個別支援計画」を作成、保護者からの確認を得、連携しながら教育・保育を実施しています。</p> <p>(3) 子ども一人ひとりの状況は、児童表、指導要録、指導計画等の各種書類に記録し、保育教諭間で共有する仕組みがあります。子どもの重要な個人情報が記載された「児童表」や「指導要録」は、『個人情報保護規定』に沿って、紛失、破壊、改ざん 及び 漏洩防止対策がなされています。重要な記録の「児童表」や「指導要録」は、保管期間が定められています。</p>		

評価対象 IV 教育・保育の内容

IV-1 教育・保育の基本		第三者評価結果
IV-1-(1) 教育と保育の一体的展開		
44	IV-1-(1)-① 方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した教育・保育課程（全体的な計画）を編成している。	Ⓐ・b・c
45	IV-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	対象外
46	IV-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	対象外
47	IV-1-(1)-④ 3歳以上児の教育・保育において教育と保育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、教育の内容や方法に配慮されている。	Ⓐ・b・c
48	IV-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	Ⓐ・b・c
IV-1-(2) 環境を通して行う教育・保育		
49	IV-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・b・c
50	IV-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	Ⓐ・b・c
51	IV-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協動的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・b・c
52	IV-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・b・c
53	IV-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 「全体的な計画」は、全職員が参画して編成し、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に明記されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目を、各年齢の具体的なねらい・内容に組み入れていました。また、園の理念、「強くたくましく、考える子どもを育成する」教育保育を具体的に実践するために、きめ細かく編成されていました。</p> <p>(2) 園庭には様々な樹木、草花、畑があり、小動物に名前をつけ飼育するなど、日々子どもたちがあらゆる命への愛情と思いやりを抱き、伸びやかに育ちゆくことを願って環境構成を工夫していました。また全身を使って様々な身体活動ができるような遊具が配置されていました。「チャレンジカード」では、どの子も頑張ればできる段階が設定され、一人ひとりの子どもが自ら目標を持ち様々な運動遊びに取り組めるよう援助していました。</p> <p>(3) 小学校に隣接していることもあり、日常的に職員間の連絡会、相互参観、アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム等の合同研修を充実して取り組んでいました。また幼児・児童との関りは保護者も巻き込んで日常的に行われ、就学に向けて滑らかな接続となるよう様々な取組が行われていました。</p> <p>(4) 子どもが主体的に遊びこめる魅力ある環境構成が工夫されていました。各保育室には、子どもの興味・関心をとらえ、様々な遊びを継続的に存分に取り組むことができるように、物、時間、空間が適切に準備されていました。週案にはきめ細かく遊びを展開するときの環境構成が記入され、職員間で共有し、高め合う議論がなされていることが確認できました。</p> <p>(5) 基本的な生活習慣の自立に向けて、年齢発達に応じて修得していくように、マニュアルにそって自分でできることは自分でやろうとする心を育てるために、一人ひとりの育ちに合わせて、丁寧に援助をしていました。当番活動では、子どもが自信をもって活動できるようにとの願いを込めて、発表する機会や食事や製作等</p>		



の様々なお手伝い活動が取り組めるように日々の保育に取り入れていました。

- (6) 遊びを通して学ぶという視点を踏まえた上で、外部講師の指導による「リトミック」を取り入れていました。子どもが友だちと一緒に自由に身体表現をしたり、音を鳴らしたり、「音楽を楽しむ心を育てる」ということを大切にしています。生活発表会では、合奏や沖縄のわらべ歌も取り入れ、達成感や表現する楽しさが感じられるように取り組んでいました。

IV-1 教育・保育の基本		第三者評価結果
IV-1-(3) 教諭の資質向上		
54	IV-1-(3)-① 教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育の改善が図られている。	㊐・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 自己評価表を取り入れ、保育教諭が主体的に教育・保育の振り返りを行い、園長、主幹・副主幹保育教諭とヒアリングを行っていました。クラス会議、週案会議ではきめ細かく日常の教育・保育を点検、評価し、次につながるようなシステムを構築していました。</p> <p>(2) 相手を思いやり心がつながり合う温かい集団作りを目指すなど、子どもの心の育ちを大切にし、その姿を詳細に記載、一人ひとりに寄り添った援助ができるようにしていました。今後、さらに具体的な教育保育環境整備の充実に向けた学びを深める中で、人的環境の在り方も含めて学び合える充実した研修を継続的に取り組んでいかれることを期待します。</p>		

IV-2 子どもの生活と発達		第三者評価結果
IV-2-(1) 生活と発達の連続性		
55	IV-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	㊐・b・c
56	IV-2-(1)-② 障がいのある子どもが安心して生活できる教育・保育環境が整備され、教育・保育の内容や方法に配慮がみられる。	㊐・b・c
57	IV-2-(1)-③ 長時間にわたる教育・保育のための環境が整備され、教育・保育の内容や方法が配慮されている。	㊐・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子どもの最善の利益を考慮し、一人ひとりの個別状況を把握して職員間で共通認識し理解を深めつつ、援助していくように研鑽していました。子どもに分かりやすい言葉や穏やかな言葉かけを意識し、日々互いに振り返る機会を持っていました。今後は、園内研修で事例に基づき、全職員で子どもへの関りについて振り返り高め合う等の研修手法を取り入れることで、さらなるスキルアップにつながることを期待されます。</p> <p>(2) 統合保育を通して、子ども同士が互いに育ちあう保育を大切にしていました。支援の必要な子どもの個別計画を短期・長期ときめ細かく作成し、研修内容、巡回相談等を職員が共通認識して統合保育に取り組む環境がありました。保護者とは緊密に連携し、子どもの姿を伝えあい、丁寧に支援をしていました。</p> <p>(3) 長時間保育では異年齢での関りを大切にし、子ども一人ひとりが家庭的で落ち着いた環境の中で過ごせるように配慮していました。延長保育では軽食を提供しその内容は毎月の献立表に明記されていました。また、日々の活動についての引継ぎが丁寧に行われるようなシステムを構築していました。</p>		

IV-2 子どもの生活と発達		第三者評価結果
IV-2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場		
58	IV-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	㊤・b・c
59	IV-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	㊤・b・c
60	IV-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	㊤・b・c
61	IV-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や教諭に伝達し、それを教育・保育に反映させている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 子ども全員の健康管理に関する書類は、入園児の記録に、年毎の健診結果、予防接種の状況などを追記し、保管していました。職員会議では全職員が全児の様子を把握し共通認識するように伝えあい、教育・保育に反映させていました。</p> <p>(2) 各保育室で落ち着いて正しい姿勢で食事ができるように環境を整えていました。保育教諭は丁寧に食事援助ができるように、子どものそばに座って一緒に食事をしていました。個々の状況に配慮し、食べる量を調節したり、自ら配膳や片付けができるように当番活動を取り入れて援助していました。当番活動では、布巾を絞ったり拭いたり干したり、基本的な生活習慣につながる取り組みにも配慮がなされていました。また「食育計画」に基づき、食への関心が広がる取り組みや、親子クッキング、野菜の栽培、収穫をクッキング活動に展開できるようにしていました。</p>		

食育に対する取り組み
<p>子どもたちが主体的に食事への興味や関心をもてるように「食育年間指導計画」を作成しています。食べる喜びや楽しさを味わえるよう、栽培活動を通して子どもたちが生長過程を経て愛着を感じ、食べる意欲へとつながるようにしています。自分達で収穫し調理することで、より美味しく食べられるようにクッキングを取り入れています。弁当会ではホールや園外で食べる等、保育教諭や友だちと一緒に食べる楽しさを感じられるようにしています。親子流しそめんや親子給食試食会を通して、保護者へ園での取り組みを知ってもらう機会を作っています。</p>

健康・保健に対する取り組み
<p>規則正しい生活が身につく、子どもたちが自分の身体に興味や関心をもてるよう「保健・健康教育年間指導計画」を作成しています。歯科衛生士による歯みがき指導を行うことで、子どもたちが進んで丁寧に歯をみがき、歯を大切にしようと思える環境づくりへと取り組んでいます。学校医による指導を受け、歯磨きの後にはフッ化物洗口も行っています。また、健康な体作りとして戸外遊びでは子どもたちが思い切り遊べる環境づくりにも工夫を行っています。身体を動かしてのびのびと遊ぶことで健やかな心の育ちへとつながるようにも取り組んでいます。</p>

IV-2 子どもの生活と発達	第三者評価結果
IV-2-(3) 健康及び安全の実施体制	

62	IV-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	㊤・b・c
63	IV-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) アレルギーがある園児に関しては、主治医による「診断書」を提出してもらい、主治医の「指示書」のもと、保護者と連携を取り、「献立表」をチェックしてもらっている。また、厚生労働省作成の『保育所におけるアレルギー対応ガイドライン』（2019年版）に沿って担任保育教諭や栄養士・調理師で、除去食を確認し、誤食を防いでいます。</p> <p>(2) 給食は、委託先OK社で調理したものを外部搬入しています。「業務委託契約書」を確認しました。担当の保育教諭が、各クラスの子ども・保育教諭の声を聞きながら、外部の委託先の栄養士と毎月、給食会議を行っています。『標準作業手順書』（2017年10月25日付）、『衛生標準作業書』（2017年11月30日付）、調理従事者の検便の記録 及び 配送車両を確認しました。園では、より一層業者での衛生管理、異物混入対策が進化するよう給食会議での話し合いを重ねていました。</p> <p style="color: green;">定期的に委託先OD社へ訪問しての衛生管理状況の点検や「調理従事者の日々の衛生管理点検表」の確認も行う事を契約書に盛り込むよう、給食会議で話し合う事も検討されては如何でしょうか。</p>		

### IV-3 保護者に対する支援

IV-3-(1) 家庭との緊密な連携		第三者評価結果
64	IV-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	㊤・b・c
65	IV-3-(1)-② 家庭と子どもの教育・保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	㊤・b・c
66	IV-3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	㊤・b・c
67	IV-3-(1)-④ 虐待に対応できる園内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	㊤・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>(1) 保育参観時に試食会を設けていました。個人面談では家庭での喫食状況の把握や食育に関する話題を取り上げ、給食内容や日々の食事援助に反映させていました。また毎日、給食献立のサンプルを掲示し、個別の食事状況を伝えて話題作りをしながら保護者との連携を深めていました。</p> <p>(2) 保育参観3回、個別面談2回を実施していました。さらに家庭との連携を深め、一人ひとりに寄り添った子育て支援をしていくために、日々の送迎時での対応を大切に、個別の相談、要望などを把握、きめ細かく記録に残して、職員間で情報の共有を図っていました。</p> <p>(3) 『虐待防止マニュアル』は全職員に周知し、送迎時親子の様子を観察し、必要がある場合は家庭訪問をするなど、早期対応を心掛け、担任、主幹保育教諭、園長が個別対応や相談を行うようにしています。</p>		

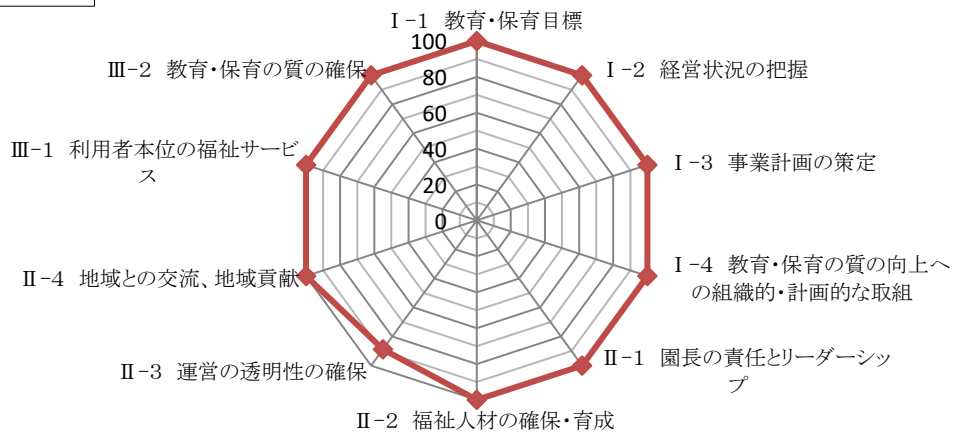
添 付

- ① 基準に対する達成度グラフ
- ② 訪問調査当日 10/25（金）の計画書
- ③ 段取り表
- ④ 2019年7月実施の護者アンケート結果 園全体

以 上

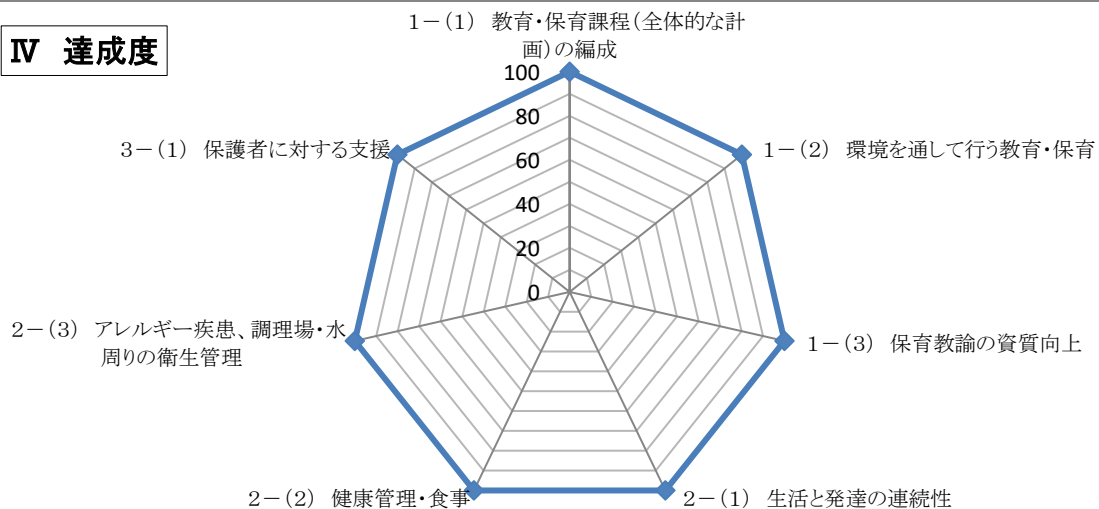
I～III章 園の運営管理 基準への達成度	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
I-1 教育・保育目標	6	6	100.0
I-2 経営状況の把握	8	8	100.0
I-3 事業計画の策定	15	15	100.0
I-4 教育・保育の質の向上への組織的・計画的な取組	9	9	100.0
II-1 園長の責任とリーダーシップ	17	17	100.0
II-2 福祉人材の確保・育成	38	38	100.0
II-3 運営の透明性の確保	9	8	88.9
II-4 地域との交流、地域貢献	14	14	100.0
III-1 利用者本位の福祉サービス	61	61	100.0
III-2 教育・保育の質の確保	30	30	100.0

### I～III 達成度



IV章 教育・保育実践 基準への達成度	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
1-(1) 教育・保育課程(全体的な計画)の編成	17	17	100.0
1-(2) 環境を通して行う教育・保育	44	44	100.0
1-(3) 保育教諭の資質向上	4	4	100.0
2-(1) 生活と発達の連続性	23	23	100.0
2-(2) 健康管理・食事	27	27	100.0
2-(3) アレルギー疾患、調理場・水周りの衛生管理	9	9	100.0
3-(1) 保護者に対する支援	25	25	100.0

### IV 達成度



## 基準に対する達成度グラフ

## 曙こども園 末吉 八千代 園長殿

いつもお世話になります。訪問調査 2019年10月25日(金)の段取りを ご送付致します。当日、2名で伺います。

「全体的な計画」、「指導計画」、「月案」等が当日いつでも見れるようにご手配お願い申し上げます。

## 訪問調査計画書

ポイント (1) 評価基準65項目に沿った活動がどのように実施されているか?

(2) 業務は標準化されているか、改善は進んでいるか?

(3) 客観性(マニュアル、記録、掲示、習慣)は確保されているか?

2回目	2019年10月25日(金)	
評価員	リーダー 吉山 浩 (HF05-1-0098)	江木 朋子 (HF18-1-003)
9:00	ご挨拶 ①弊社より自己紹介、進め方の説明 ②園長より園の概要説明、強みの説明 ③園内見学	
9:30	I章 基本方針と組織 (9項目) II章 組織の運営管理 (16項目) III章 1 利用者本位の福祉サービス(12項目) 及び 食の担当(60番、62番、63番) *委託業者との契約書の確認を含む	III章 2 教育・保育の質の確保(6項目) IV章 教育・保育の内容(22項目) 対象外 乳児対象項目:45番、46番 【 教育・保育状況観察含む 】 除く:食の担当さんからのヒアリング(60番、62番、63番)
11:50		
昼食	園児と同じ給食を頂きます (当日現金で2人分お支払いします)	
午後 12:40	(上記の続き)	(上記の続き)
13:20	評価員2名で打合わせ (*どこか打合用スペースをお願いします)	
13:40	最終会議 (本日の結果のご説明)	
14:00		

評価員プロフィール : 吉山浩は、キャリア15年のベテランの評価者、江木朋子は元京都市の保育所の所長

注) 1-力を入れて取り組んでいる点、2-食育の取り組みは、当日朝に2部お渡し下さい。

☆ 保育理念、目指す子ども像、遵守すべき法令名5個が職員に周知徹底されているか、全職員に筆記テスト

当日子ども中心の対応でOKです ①終了予定時間 14:00頃 ②適宜、休憩時間を取ります ③当日 8:50頃伺います

# 曙こども園 段取表 チャンスはピンチの顔でやって来る！！

3園合同 段取打合 Ⓢ	* 第1回 勉強会 Ⓢ 自己評価サポート (90分程度) 講師：吉山	保護者アンケート (配布～回収 14日)			* 第2回 勉強会 Ⓢ 自己評価サポート (90分程度) 講師：吉山	自己評価 弊社へ メール添付 で送付 Ⓢ	訪問調査 Ⓢ 吉山・江木 2名 * 子供と共に昼食 ◎全職員筆記テスト	是正確認 (書類) (7日以内) Ⓢ	報告書 (案) 送付 Ⓢ	園より市へ 報告・ HPで 結果公開
		配付 世帯 (兄)	回収 80% 以上	弊社へ 郵送						
6/18 (火) PM2:00-3:30	7/20 (土) AM9:30~11:30	7月 Ⓢ 100%回収率			9/6 (金) PM5:00~6:30	10/4 (金)	10/25 (金) AM9:00-14:00	11/5 (火)	11/7 (木)	12月

合同段取打合 6/18 (火) PM2:00~3:30 於：Kこども園		7/20 (土) AM9:30~11:30 第1回 自己評価サポート	
			
10/25 (金) AM9:00~14:00 訪問調査 園長・副園長、副主幹保育教諭・リーダー		2班に分かれてヒアリング	
			

# 曙こども園 園全体 アンケート結果 1

2019年7月 総世帯数 55世帯 55回収/55配布 回収率100%

I 認定こども園の理念・方針 について							
1	認定こども園の理念・方針をご存じですか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		⑤	④	3	2	1	
		よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	
		2	37	10	3	2	1
2	問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方 その理念や方針は賛同できるものだと思いますか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		5	4	3	2	1	
		賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	
		20	19	0	0	0	0
3	問1で「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方 日頃の教育・保育は、その理念や方針と一致していますか？	保護者さまの回答（人）					未記入
		5	4	3	2	1	
		一致している	まあ一致している	どちらともいえない	あまり一致していない	一致していない	
		19	20	0	0	0	0

# 曙こども園 園全体 アンケート結果 2



2019年7月 総世帯数 55世帯

55回収/55配布 回収率100%

No.	質 問	保護者さまの回答（人）				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>Ⅱ 入園する時の状況</b>						
4	入園に関わる見学や問い合わせに快く受け入れてくれましたか。	53	0	0	2	0
5	入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったですか。	48	6	1	0	0
6	入園時に、個別の面接はありましたか。	50	1	2	2	0
7	お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか。	52	2	1	0	0
8	園の理念や方針、こども園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか。	50	5	0	0	0
9	費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか。	50	3	2	0	0
10	入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか。	50	4	0	1	0
<b>Ⅲ 年間の教育・保育や行事</b>						
11	年間の教育・保育や行事について、十分な説明がありますか。	49	6	0	0	0
12	年間の教育・保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。	43	9	0	3	0
<b>Ⅳ 「遊び」について</b>						
13	園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。	51	4	0	0	0
14	園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。	48	2	1	4	0
15	意欲を促すような環境設定が十分にされていると思いますか。	49	5	0	1	0
16	自然に触れたり地域に関わる活動などが、十分に行われていると思いますか。	51	3	1	0	0
17	遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。	50	4	0	1	0
18	遊びを通じて物を大切にする心や思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。	50	4	0	1	0



# 曙こども園 園全体 アンケート結果 2



2019年7月 総世帯数 55世帯

55回収/55配布 回収率100%

No.	質 問	保護者さまの回答 (人)				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>V 「生活」 について</b>						
19	水分補給や休息など、十分に対応がされていると思いますか。	52	3	0	0	0
20	お子さんの体調について、常に心配りされていると思いますか。	55	0	0	0	0
21	献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていますか。	53	2	0	0	0
22	給食のメニューは充実していると思いますか。	46	7	1	1	0
23	お子さんは給食を楽しんでいると思いますか。	43	12	0	0	0
24	一人一人に適した量やその日の体調に合わせた調理方法等の配慮がなされていると思いますか。	43	2	1	9	0
25	食事への配慮が必要な場合(アレルギー等)、保護者との十分な連携がとれていると思いますか。	43	2	0	8	2
<b>VI 快適さ や 安全対策</b>						
26	園舎・園庭などの施設に満足していますか。	43	11	1	0	0
27	お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっていますか。	49	5	0	0	1
28	不審者侵入に対する訓練が行われていると思いますか。	50	4	0	1	0
29	お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか。	1	0	51	3	0
30	衛生管理や感染症対策は適切に行われていると思いますか。	48	6	0	1	0
31	災害・火災・地震の訓練が適切に行われていると思いますか。	53	1	0	1	0

# 曙こども園 園全体 アンケート結果 2



2019年7月 総世帯数 55世帯

55回収/55配布 回収率100%

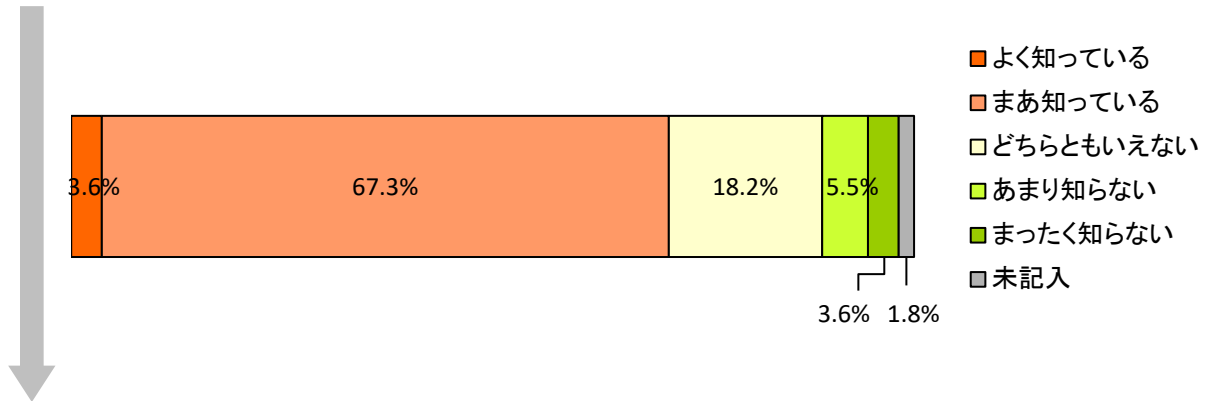
No.	質 問	保護者さまの回答 (人)				
		5	4	3	2	1
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未記入
<b>VII 園と保護者との連携・交流</b>						
32	保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会は十分だと思いますか。	53	2	0	0	0
33	園だよりや掲示、連絡帳などにより、園の様子や行事について十分な情報提供がありますか。	51	4	0	0	0
34	園の行事の開催日や時間帯は、保護者が参加しやすいように配慮がされていますか。	43	10	2	0	0
35	登降園時に、お子さんの体調面、怪我、気になる事などの確認や説明がありますか。	50	4	1	0	0
36	子育てに関する気がかりな点や悩み等について、気軽に個別相談ができますか。	48	7	0	0	0
37	開園時間内であれば、急な残業や不定期な業務に対して柔軟に対応してくれますか。	46	0	0	8	1
38	園から保護者への緊急時の連絡体制はきちんととれていますか。	53	0	0	1	1
<b>VIII 教諭の対応</b>						
39	あなたのお子さんは園の生活を楽しんでいると思いますか。	51	4	0	0	0
40	担当教諭はお子さんの良いところや個性を認めていますか。	53	2	0	0	0
41	教諭の教育・保育姿勢や対応はだいたい同じ(ばらつきが少ない)ですか。	45	8	0	2	0
42	園長や教諭に対して不満や要望を気軽に言うことができますか。	43	9	1	2	0
43	不満や要望には的確に応えてくれますか。	46	6	0	3	0
44	教育・保育中の急な発熱や病気、事故等に対して、責任を持って適切に対応していますか。	52	0	0	3	0
45	アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮は、十分なされていますか。	41	2	0	11	1

# 曙こども園 園全体 アンケート結果 3

IX 総合満足度					
5段階評価 ⇒ 4.7	保護者様の回答 (上段:人 下段:%)				
	⑤ 満足	④ やや満足	③ どちらとも いえない	② やや不満	① 不満
回答数 (人) 55	41	14	0	0	0
	74.5%	25.5%	0.0%	0.0%	0.0%

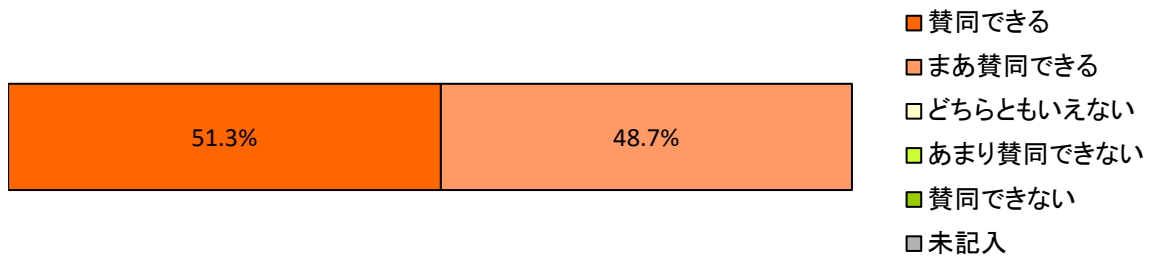
【I 認定こども園の理念・方針について】

1. 認定こども園の理念・方針をご存じですか

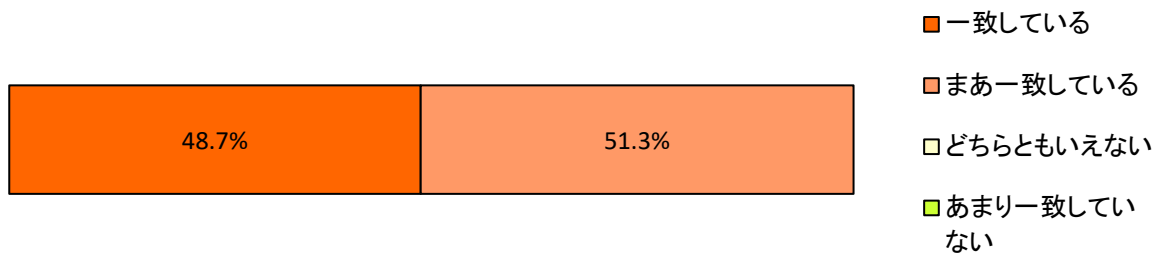


「よく知っている」または「まあ知っている」とお答えの方

2. その理念や方針は賛同できるものだと思いますか



3. 日頃の教育・保育は、その理念や方針と一致していますか

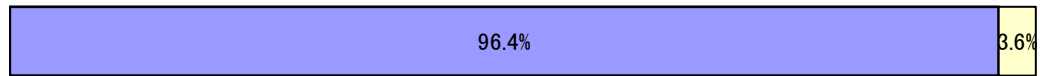


## 曙こども園 園全体 アンケート結果 グラフ 2

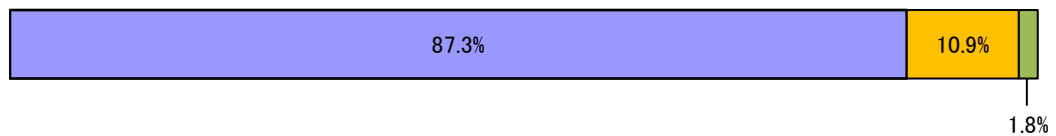
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ わからない ■ 未記入

### 【Ⅱ 入園する時の状況】

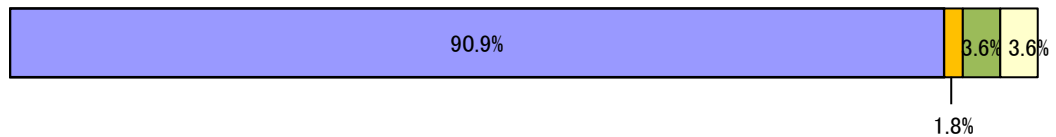
4. 入園に関わる見学や問い合わせに快く受け入れてくれましたか



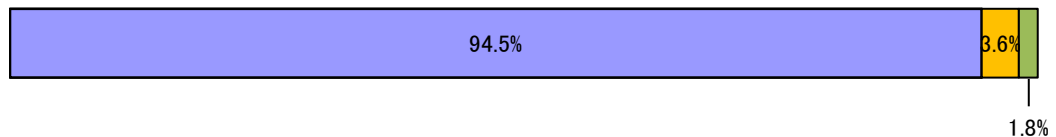
5. 入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったですか



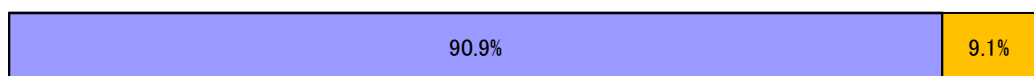
6. 入園時に、個別の面接はありましたか



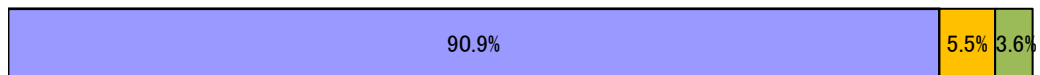
7. お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか



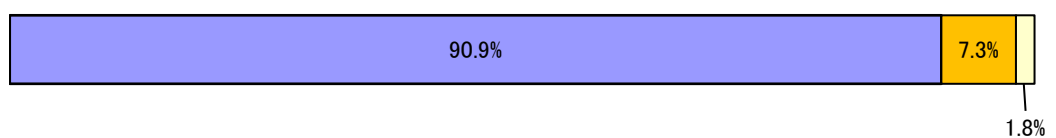
8. 園の理念や方針、こども園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか



9. 費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか



10. 入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか

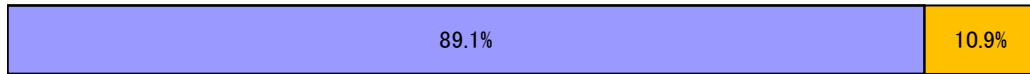


## 曙こども園 園全体 アンケート結果 グラフ 3

はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【Ⅲ 年間の教育・保育や行事】

11, 年間の教育・保育や行事について、十分な説明がありますか

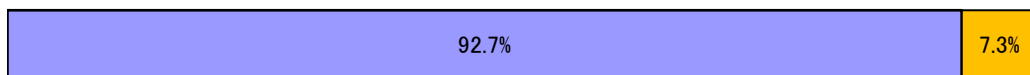


12, 年間の教育・保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか

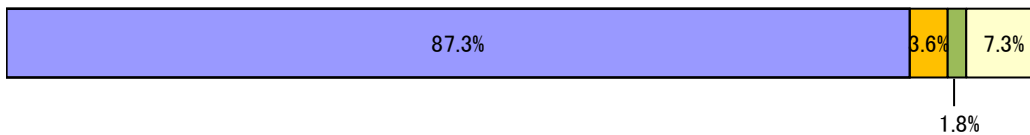


### 【Ⅳ 「遊び」 について】

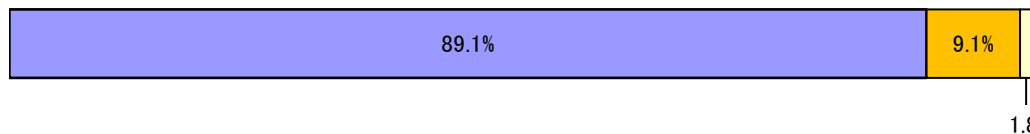
13, 園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか



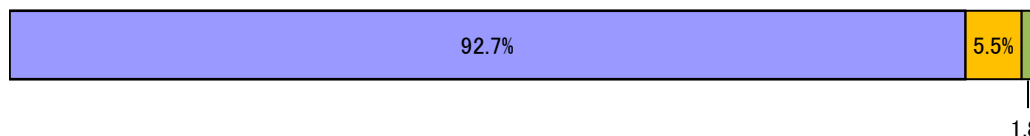
14, 園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか



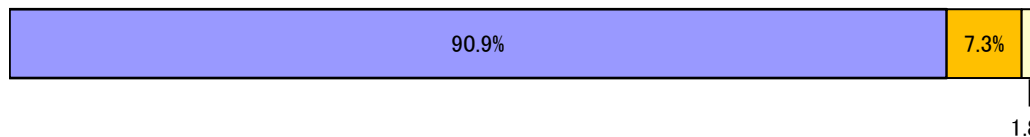
15, 意欲を促すような環境設定が十分にされていると思いますか



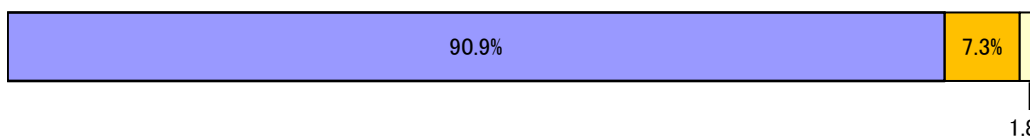
16, 自然に触れたり地域に関わる活動などが、十分に行われていると思いますか



17, 遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか



18, 遊びを通じて物を大切にする心や思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか

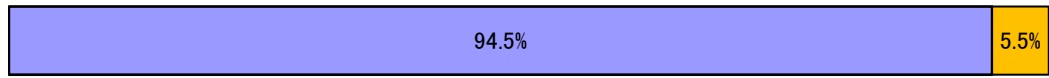


曙こども園 園全体 アンケート結果 グラフ 4

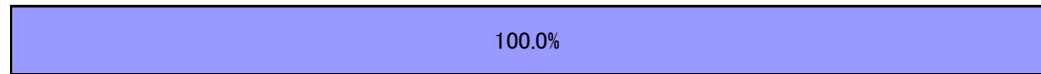
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

【V 「生活」 について】

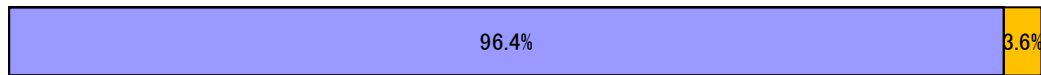
19, 水分補給や休息など、十分に対応がされていると思いますか



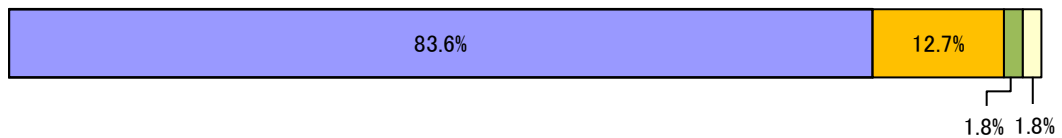
20, お子さんの体調について、常に気配りされていると思いますか



21, 献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていきますか



22, 給食のメニューは充実していると思いますか



23, お子さんは給食を楽しんでいると思いますか



24, 一人一人に適した量やその日の体調に合わせた調理方法等の配慮がなされていると思いますか



25, 食事への配慮が必要な場合(アレルギー等)、保護者との十分な連携がとれていると思いますか



## 曙こども園 園全体 アンケート結果 グラフ5

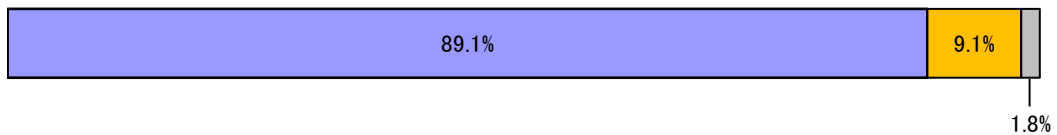
■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ わからない ■ 未記入

### 【VI 快適さ や 安全対策】

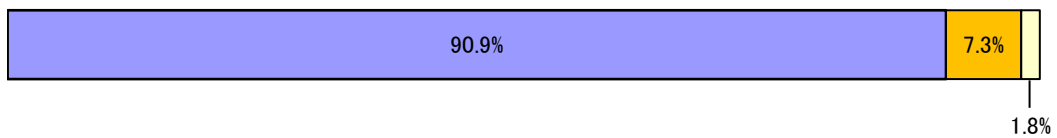
26, 園舎・園庭などの施設に満足していますか



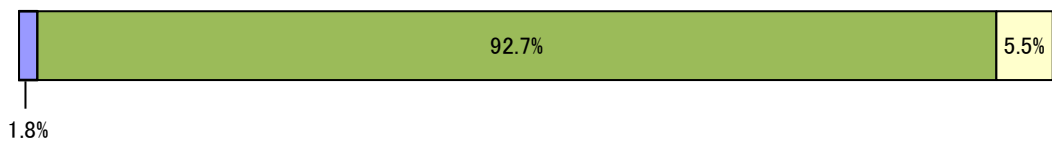
27, お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっていますか



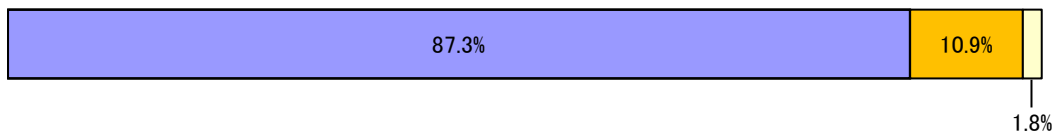
28, 不審者侵入に対する訓練が行われていると思いますか



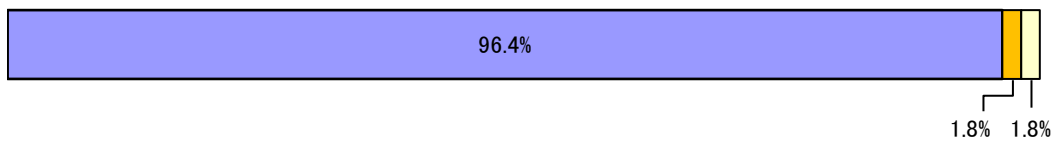
29, お子さんや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたというような経験はありますか



30, 衛生管理や感染症対策は適切に行われていると思いますか



31, 災害・火災・地震の訓練が適切に行われていると思いますか



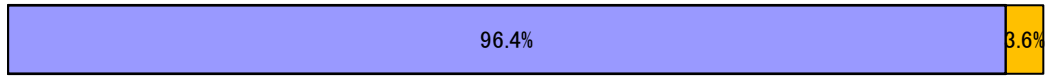


曙こども園 園全体 アンケート結果 グラフ 6

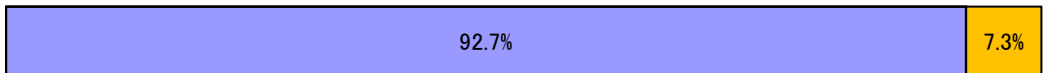
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

【Ⅶ 園と保護者との連携・交流】

32, 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会は十分だと思いますか



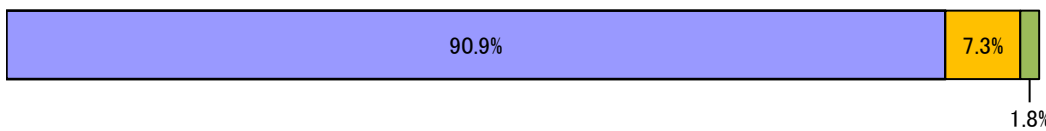
33, 園だよりや掲示、連絡帳などにより、園の様子や行事について十分な情報提供がありますか



34, 園の行事の開催日や時間帯は、保護者が参加しやすいように配慮がされていますか



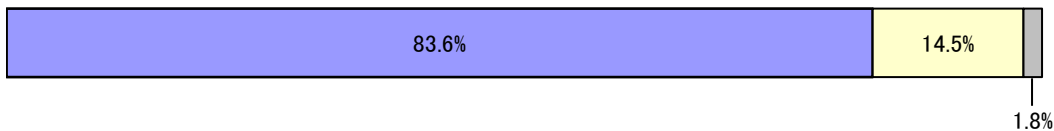
35, 登降園時に、お子さんの体調面、怪我、気になる事などの確認や説明がありますか



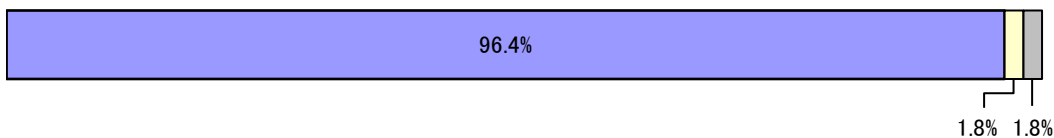
36, 子育てに関する気がかりな点や悩み等について、気軽に個別相談ができますか



37, 開園時間内であれば、急な残業や不定期な業務に対して柔軟に対応してくれますか



38, 園から保護者への緊急時の連絡体制はきちんととれていますか

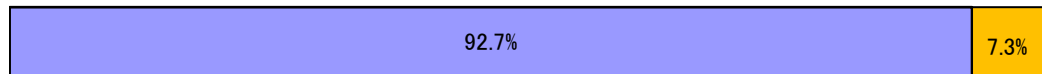


## 曙こども園 園全体 アンケート結果 グラフ 7

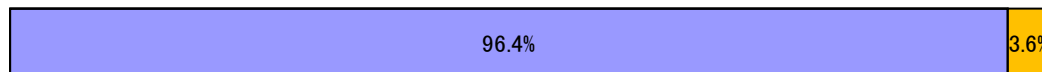
はい
  どちらともいえない
  いいえ
  わからない
  未記入

### 【Ⅷ 教諭の対応】

39, あなたのお子さんは園生活を楽しんでいると思いますか



40, 担当教諭はお子さんの良いところや個性を認めていますか



41, 教諭の教育・保育姿勢や対応はだいたい同じ(ばらつきが少ない)ですか



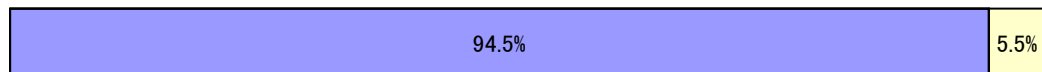
42, 園長や教諭に対して不満や要望を気軽に言うことができますか



43, 不満や要望には的確に応えてくれますか



44, 教育・保育中の急な発熱や病気、事故等に対して、責任を持って適切に対応していますか



45, アレルギーのあるお子さんや障がいのあるお子さんへの配慮は、十分なされていると思いますか



### 【Ⅸ 総合満足度】

5段階評価

4.7

満足
  やや満足
  どちらともいえない
  やや不満
  不満

